

日本国憲法 教育基本法
学校教育法等関係法規
京都府教育振興プラン
町づくり総合計画
町教育大綱・指導の重点
生徒・保護者の願い
地域社会の願い
教職員の願い

育てたい子ども像

学校教育目標

- ・夢に向かって自ら学ぶ人
- ・人とのつながり(絆)を大切にする人
- ・誇りをもってふるさとを語れる人

町教育大綱「基本理念」

- ・人がつながる
- ・未来につながる
- ・まちぐるみの教育

めざす学校像

- ① 生徒・地域・保護者から信頼・支援される学びの場としての地域の学校
- ② 生徒や地域の特性を活かし、生徒の夢を具現化する学校

期待する生徒像

- ① 夢に向かって学び続ける生徒
- ② 人とつながり協働できる生徒
- ③ ふるさに誇りを持ち伝え合える生徒

めざす教師像

- ① 生徒の心に寄り添い、生徒・保護者・地域に信頼される教師(一人一人を大切に)
- ② 生徒の学力向上等生きる力を育成を図るため、研鑽を重ねる教師

学校経営方針(中期経営目標)

「ウェルビーイングの実現を目指して、知・徳・体の調和がとれ自・和を大切にできる体系的な教育をすすめ、家庭・地域と協働する学校づくり」

質の高い学力の育成(知)

・新学習指導要領の趣旨を踏まえ、小中一貫教育を通して、質の高い学力をはくむ。

豊かな心と健やかな身体の育成(徳・体)

・生徒指導の実践上の4つの視点及び生徒理解に基づく教育をすすめ、豊かな心と健やかな身体をはくむ。
・道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
・健康の保持増進と体力の向上を図る。

社会的に自立した人間の育成(自・和)

・自己を見つめ将来を展望する力をはくむ。
・人とのつながりや様々な体験等を通して、人権尊重の心をはくむ、社会的に自立した人間としての基盤を培う。共生する力やおもてなしの心をはくむ。

地域と協働する学校づくり

・保護者や地域から信頼され、愛されるチーム「維孝館」の構築を図り、地域と協働する学校づくりをすすめる。

小中一貫教育推進

学校経営の重点(短期経営目標)

- 学校・社会生活の基盤育成のため、教育活動すべてで行動指針の徹底と評価を行う。
- 人権学習をはじめ、全教育活動において生徒の人権意識の高揚を図る。
- 社会的・職業的に自立した人間としての基盤に必要となるコミュニケーション力、自律の力をはじめとする様々な力(非認知能力)を培い、生徒自らが進路進路実現を図る姿勢を育成するとともに、生徒が自己効力感等を実感できるよう評価をすすめる。
- 「学びをつなぐ授業づくり」の研究・実践にタブレットPC等ICTの利活用を加え、主体的・対話的で深い学びにつながる授業等の構築を図る。
- 新学習指導要領の評価・評定を確実に行うとともに、指導と評価の一体化を踏まえ、集団への指導等ガイダンスと個別に対応したカウンセリングにより、生徒の発達を支援する。さらに、京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～を有効に活用し、学力向上に努める。
- 新学習指導要領の趣旨を踏まえて、教育課程をカリキュラム・マネジメント及び働き方改革の視点から、整理・改善を図る。
- ボランティア活動等地域の一人としての意識を醸成する取組をすすめるとともに、地域人材等の活用・参画や学校行事等への参加を促し 家庭・地域との協働できる学校づくりを図る。

維孝館学園 田原小学校 宇治田原小学校との連携協働

義務教育9年間を見据えた基礎・基本の定着と活用力、主体的に学ぶ力を高める取組等

- ・新学習指導要領に対応した学習活動と学習評価の実施
- ・朝の読書活動の充実
- ・授業規律の確立(レッツ・スタディ宇治田原っ子)
- ・学習習慣の定着(ICT等を活用した自主学習)
- ・家庭学習等の充実(シラバス・自主学習ノート・ICT等を活用した自主学習)
- ・「学びをつなぐ授業づくり」の研究・実践
- ・タブレットPCの利活用の推進
- ・書く力・説明力等言語活動の充実
- ・英検を活用したグローバル化への対応
- ・「主体的・対話的で深い学びの育成」の視点を各取組に導入
- ・小中9年間の指導計画を活用した指導の充実
- ・京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～の活用

生徒指導の実践上の4つの視点と生徒理解に基づく予防的な生徒指導

- ・基本的な生活習慣・生活リズムの確立
- ・いじめ未然予防・不登校減少に係る取組の徹底(生徒アンケート・面談、いじめ防止対策委員会の活動等)
- ・カウンセリングマインドによる教育相談の推進
- ・スクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザー、心の居場所サポーターの活用(ケース会議の積極的な開催や関係機関との連携)
- ・非行防止教室・薬物乱用防止教室の実施

社会的に自立した人間としての基盤 豊かな心と健やかな身体の育成

各種の学習等をつなぎ社会的自立の基礎を培う取組等

- ・小中9年間のふるさと学習等のまとめとしての「まちづくり学習」の積極的な活用
- ・進路指導を含むキャリア教育の系統化と内容の充実
- ・生徒会活動による課題解決的な取組
- ・生徒会や部活動等生徒の自主的な活動の推進
- ・自他を認め合い学びあいができる学級等集団づくり
- ・コミュニケーション等ソーシャル・スキルの育成

生徒の成長を促す研究・研修、学校体制

- QUを活用した学級経営
- 生活・学力等の実態分析とその改善方策
- チーム「維孝館」構築
- ・SC・SSW・心の居場所
- サポーター等の協働
- 学校評価の活用
- 新学習指導要領への対応等の研究・実践(カリキュラム・マネジメント・働き方改革の)

大学・企業の協力

高校との連携

人権尊重を基盤とした

- ・道徳的な感性を磨き心育てる道徳授業の研修
- ・特別な教科「道徳」の評価の充実
- ・輪番道徳等、全教員による道徳授業
- ・「法やルールの教育」等の推進による規範意識の醸成
- ・系統的な人権学習の実施
- ・人権作文・人権標語の取組等を通じた人権意識の向上
- ・ボランティア活動、クリーンキャンペーン等を通じた社会奉仕精神の涵養
- ・障害の科学的な理解に基づく、共生の精神・態度の醸成
- ・自他の文化の理解と尊重による国際協調の精神の育成

行動指針(徹底と評価)

時を守り(時間を守り、生活に余裕を持つ)

場を清め(きれいな学習環境を創る)

礼を正す(あいさつ・感謝を表す)

地域人材等の活用・参画

社会人講師 支援サポーター 学生ボランティア他

情報発信

学校公開・学校だより・HP・メール 職場体験、各種施設等での実習 クリーンキャンペーン・ボランティア活動等

地域の一員としての意識の醸成

保護者・地域の人々・学校支援ボランティア 他